

南魚沼市監査委員告示第 1 号

監 査 結 果 の 公 表

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定による監査を実施したので、同条第9項の規定により監査の結果に関する報告を別紙のとおり公表する。

平成28年2月25日

南魚沼市監査委員 河野和男

南魚沼市監査委員 桑原圭美

南魚監第81号
平成28年2月25日

南魚沼市長 井口一郎様
南魚沼市議会議長 山田勝様
南魚沼市教育委員会委員長 西野仁様

南魚沼市監査委員 河野和男
南魚沼市監査委員 桑原圭美

定期監査及び行政監査の結果に関する報告について（提出）

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査及び行政監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を下記のとおり報告します。

記

1 監査の対象

平成27年度における財務及び経営に関する事務事業全般

2 監査の実施期間及び対象箇所

平成27年11月9日から平成28年2月4日まで

| 実施日 | 監査対象 |
|------------|----------------------|
| 平成27年11月9日 | 城内診療所 塩沢学校給食センター |
| 11月12日 | 子ども・若者育成支援センター 学校教育課 |
| 11月17日 | 水道課 社会教育課 |
| 11月27日 | 消防本部 下水道課 |
| 12月1日 | 廃棄物対策課 養護老人ホーム魚沼荘 |
| 12月3日 | 市民課 環境交通課 |
| 平成28年1月7日 | 子育て支援課 福祉課 |
| 1月12日 | 商工観光課 企画政策課 |
| 1月14日 | 建設課 保健課 |
| 1月27日 | 農林課 都市計画課 |
| 1月29日 | 税務課 家畜指導診療所 |
| 2月2日 | 介護保険課 財政課 |
| 2月4日 | 総務課 |

3 監査の方法

あらかじめ提出を求めた監査資料に基づき、所属長及び関係職員から事業執行状況等の説明を受け、その後質疑応答を行うとともに、関係諸帳簿及び書類の抽出による調査等の方法により実施した。

4 監査の主眼

財務に関する事務の執行が適法適正かつ効率的に行われているか、事務事業の執行が合理的かつ効率的に行われているかを主眼とした。

5 監査の結果

監査の結果、おおむね適正に事務処理がなされていたが、一部不備及び改善の検討を要する事項が見受けられたので、適正な執行に努められたい。

なお、各課個別事項は別紙のとおりである。

(別紙)

○城内診療所

1 主な事務分掌

城内診療所の管理、運営

2 職員体制

| 職 種 | 常 勤 | 臨時・非常勤 |
|---------------|-----|--------|
| 医 師 | 1 | (5) |
| 看 護 師 | 2 | 1 |
| 准 看 護 師 | 0 | 1 |
| 臨 床 検 査 技 師 | 1 | (1) |
| 診 療 放 射 線 技 師 | 1 | (2) |
| 事 務 職 | 2 | 0 |
| 計 | 7 | 10 (8) |

* () 内は、非常勤

3 業務の状況

(1) 患者数 (9月末現在)

(単位：人、%)

| 区 分 | 平成27年 | 平成26年 | 比較増減 | 前年比 |
|-------|-----------------|-----------------|--------------|-----------------|
| 外来患者数 | (380) 5, 146 | (349) 5, 807 | (31) △661 | (108.9) 88.6 |
| 入院患者数 | (0) 0 | (660) 2, 377 | (皆減) 皆減 | (皆減) 皆減 |
| 計 | 5, 146 | 8, 184 | △3, 038 | 62.9 |

(注) 外来患者数欄の () は初診患者数の、入院患者数欄の () は介護療養病床のそれぞれ再掲である。

(2) 収支状況 (9月末現在)

(単位：千円)

| 区 分 | 収 入 | 支 出 | 差 引 |
|-------|---------|---------|---------|
| 平成27年 | 47,354 | 64,695 | △17,341 |
| 平成26年 | 116,322 | 161,711 | △45,389 |
| 比較増減 | △68,968 | △97,016 | 28,048 |

4 所感

平成27年4月から実質無床化でスタートし、この間特に混乱もなく、地域からもクレーム等はなかったとのことである。同年6月に、「地域全体で一つの病院」を掲げ魚沼基幹病院が開院し、南魚沼市民病院も11月に開院した。そうしたなか、城内診療所は、どのような立ち位置を占めるのか明確にする必要があるのではないかと感じたところである。

○塩沢学校給食センター

1 主な事務分掌

塩沢給食センターの管理運営（塩沢中、塩沢小及び栃窪小の給食約1,100食の提供）

2 機構・職員の状況

| | | | | |
|--------|-----|------------|-----------|----|
| 塩沢給食係長 | 調理員 | 21名うち非常勤職員 | 11名、代替調理員 | 6名 |
| | 栄養士 | 1名うち非常勤職員 | 1名（新潟県職員） | |
| | 計 | 23名うち非常勤職員 | 12名、代替調理員 | 6名 |

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

センター業務の一部を民間委託すべく検討が進められている。近年アレルギー対応食も増加傾向にあり、事故のないよう安全管理を徹底し、おいしい学校給食を提供していくよう望むものである。

○子ども・若者育成支援センター

1 主な事務分掌

教育支援、青少年育成支援、家庭教育支援、教育相談、心の教室相談、適応指導教室

2 機構・職員の状況

| | | | |
|-------|-------------|------------|-----|
| センター長 | 育成支援係 | 19名うち非常勤職員 | 16名 |
| | （若者担当） | 4名うち非常勤職員 | 4名 |
| | （子ども担当・相談員） | 7名うち非常勤職員 | 7名 |
| | （子ども担当・指導員） | 4名うち非常勤職員 | 4名 |
| | 計 | 20名うち非常勤職員 | 16名 |

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

当センターを設置する契機となった「子ども・若者育成支援推進法」の目的の1つに、ネット、引きこもりの支援がある。しかしながら、当市では未だその実態が不明である。プライバシー等の問題もあろうが、実態が分らなければ対策も立てられないと思われる。まず実態を把握することが喫緊の課題と感じたところである。

勤労青少年ホームは、全国的にも県内でも閉館や縮小傾向にある。当市の延べ利用者数も年々減少傾向にある。建物も老朽化し、今後の在り方について検討する時期ではないかと感じたところである。

○学校教育課

1 主な事務分掌

学校運営、学校施設管理、学校保健、教育指導、教科書関係、学習指導の調査・研究・指導、給食調理

2 機構・職員の状況

| | | | |
|----|-------|-------------|-----|
| 課長 | 学校指導係 | 12名うち非常勤職員 | 8名 |
| | 学校庶務班 | 105名うち非常勤職員 | 78名 |
| | 計 | 118名うち非常勤職員 | 86名 |

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

教育委員会の組織再編による体制強化、特別支援教育の充実、学区再編事業、学校給食センター業務の一部民間委託等々課題は多い。どのような教育がなされるかは、個人にとって一生を左右しかねない大きな問題である。と同時に持続可能な地域社会であるためにも、地域の子どもをどう教育していくかは極めて重要な問題である。人口減少の基調のなか、百年の大計を考えた施策の実施を期待するものである。

中学生の海外派遣事業も7年が経過した。「自信がついた。大変良かった。」という印象論だけでなく、参加者のその後を調査するなど、公費で派遣しているので、どのような成果が出ているか具体的に検証するよう求めた。

○水道課

1 上半期業務執行状況

(1) 有収水量

(単位：m³)

| 区 分 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 比較増減 | |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|
| | 使用量 | 超過量 | 使用量 | 超過量 | 使用量 | 超過量 |
| 家庭用 | 2,414,419 | 1,379,486 | 2,461,594 | 1,432,035 | △47,175 | △52,549 |
| 営業用 | 405,337 | 346,138 | 396,112 | 338,523 | 9,225 | 7,615 |
| 工場用 | 47,039 | 41,057 | 42,467 | 36,640 | 4,572 | 4,417 |
| 官公署 | 136,269 | 129,825 | 128,425 | 121,978 | 7,844 | 7,847 |
| その他 | 196,542 | 180,558 | 204,972 | 188,795 | △8,430 | △8,237 |
| 計 | 3,199,606 | 2,077,064 | 3,233,570 | 2,117,971 | △33,964 | △40,907 |

(2) 損益

(単位：千円・%)

| 区 分 | 平成27年度 | 平成26年度 | 比較増減 | 前年度比 |
|---------|---------|---------|---------|-------|
| 1 営業収益 | 789,543 | 797,413 | △7,870 | 99.0 |
| 2 営業費用 | 749,208 | 744,907 | 4,301 | 100.6 |
| 営業利益 | 40,335 | 52,506 | △12,171 | 76.8 |
| 3 営業外収益 | 262,183 | 289,967 | △27,784 | 90.4 |
| 4 営業外費用 | 152,932 | 168,369 | △15,437 | 90.8 |
| 経常利益 | 149,586 | 174,104 | △24,518 | 85.9 |
| 5 特別利益 | 0 | 285 | △285 | 皆減 |
| 6 特別損失 | 113 | 36,391 | △36,278 | 0.3 |
| 当年度純利益 | 149,473 | 137,998 | 11,475 | 108.3 |

2 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

人口減少や節水機器普及等による給水収益の減少や、一般会計繰入金等の減少などにより事業収益の減少が続くなど水道事業を取り巻く環境は非常に厳しいものがある。しかし、水

道施設の健全な維持や、安心・安全な水を安定して供給することは事業者の使命である。今後も、施設利用率や有収率の向上、料金収納確保、経費節減など、より一層効率的な事業運営に努めていただきたい。

上水道料金徴収等事務は、民間委託から3ヶ月経過したところである。特に支障なく執行されているとのことである。

不納欠損処分に関し、調書の記載不備や記載誤りの箇所について、正しい記載を求めた。

○社会教育課

1 主な事務分掌

社会教育、生涯学習、公民館事業、スポーツ推進、文化行政、史跡・遺跡、郷土史編さん

2 機構・職員の状況

| | | | |
|----|---------|------------|-----|
| 課長 | 生涯学習班 | 9名うち非常勤職員 | 2名 |
| | 文化振興係 | 4名 | |
| | 郷土史編さん係 | 6名うち非常勤職員 | 4名 |
| | 生涯スポーツ係 | 6名うち非常勤職員 | 1名 |
| | 図書館係 | 14名うち非常勤職員 | 12名 |
| | 計 | 40名うち非常勤職員 | 19名 |

(指定管理施設23施設、直営管理施設15施設)

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

近年、小野塚彩那氏など世界や全国で活躍する選手が増えている。棚村基金からの支出も、それに伴って増えつつある。単発の奨励金だけではなくて、こうした選手を発掘し、育て、支えていくシステムを考えていく必要があるのではないかと感じたところである。

南魚沼市図書館は、少人数の職員で、市民に対し、できるだけ長時間利用ができるよう運営されている。職員の労働環境にも配慮しつつ、利用者のニーズに応え、愛される図書館となるよう望むものである。

○消防本部

1 主な事務分掌

火災・救急・山岳遭難・災害等の出動、建築確認申請同意、危険物、消防団

2 機構・職員の状況

| | | | | |
|-----|-------|-------|-------|----|
| 消防長 | 消防次長 | 消防庶務課 | 消防庶務係 | 2名 |
| | | 課長補佐 | 消防団係 | 1名 |
| | (警防課) | 通信指令係 | 1名 | |
| | | 警防係 | 1名 | |
| | | 防災救助係 | 1名 | |
| | | 救急係 | 1名 | |
| | | 予防課 | 予防係 | 2名 |
| | | 危険物係 | 1名 | |
| | | 指導係 | 1名 | |

| | | |
|----------------|-----|------|
| └─南魚沼市消防署 | 3小隊 | 44名 |
| └┬─南魚沼市消防署大和分署 | 3小隊 | 18名 |
| └─南魚沼市湯沢消防署 | 3小隊 | 24名 |
| | 計 | 105名 |

(注) 消防次長は、警防課長を兼務。南魚沼市消防署の小隊員は各係に配属。

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

当消防本部の、平成25年度の救急業務における「現場到着平均所要時間」は10.6分で、これは県平均8.8分と比較して1.8分遅く、県内19消防本部中19位であった。署の立地条件等あり一概に良し悪しは判断できないが、一刻も早い現場到着—搬送先収容が望まれる。こうしたなか、この時間短縮に取組み、一つひとつの動作や体制の見直し、改善に努力し、着実に短縮が図られているとのことである。

魚沼基幹病院が開院したことから、「うおぬま・米ねっと」の活用状況について聴取した。「救急医療の現場では、救急車や病院が搬送される患者さんの診療情報を把握できることで、迅速に適切な治療を開始できることが期待できます」として運用が開始された。タブレットは全ての救急車に積載しているが、「情報が欲しい患者は加入していないか制度を知らない」「操作に時間がかかる、処置する時間が欲しい」等で、今のところ当初の構想どおりの運用にはいたっていないようである。

○下水道課

1 主な事務分掌

下水道事業の経営及び計画、下水道施設の建設、維持管理及び災害復旧

2 機構・職員の状況

| | | | | | |
|-------|--------|--------|---------|---------|----|
| 課長 └─ | 下水道業務係 | 7名 | うち非常勤職員 | 2名 | |
| | └─ | 下水道工務係 | 8名 | | |
| | | 計 | 16名 | うち非常勤職員 | 2名 |

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

下水道事業の面整備については順調に進捗しており、目標どおり平成27年度の完了が見込まれる。浄化槽整備事業については下水道事業計画の変更により、ハツカ石、上の平、大沢山地区を浄化槽区域とし、平成29年度までの整備計画に基づき整備を図っていくとのことである。

平成24年度から実施してきた下水道接続促進事業により水洗化率は86.0%（平成26年度末）となり、実施前より5.6ポイント上昇し、総合計画目標値85%を上回ったことから効果は顕著であった。接続促進事業は一部対象者（供用開始3年未満）を除いて終了となるが、今後も未接続者への対応について一層の努力を望むものである。

平成31年度の公営企業会計移行に向け準備が進められている。収益—費用を明確にし、経営内容の明確化が図れるものと期待される。

不納欠損処分に関し、調書の記載不備や記載誤りの箇所について、正しい記載を求めた。

○廃棄物対策課

1 主な事務分掌

廃棄物政策関係（減量化、資源化等）、一般廃棄物処理計画、ごみ収集関係、施設管理・整備（ごみ処理施設、し尿処理施設、最終処分場）、スラグ二次製品化関係

2 機構・職員の状況

| | | |
|----|------------|-------------|
| 課長 | — 廃棄物対策係 | 5名うち非常勤職員1名 |
| | — 廃棄物処理係 | 5名 |
| | — 新ごみ処理準備係 | 1名 ほか派遣職員2名 |
| | 計 | 12名 |

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

当市におけるごみの搬入量は、各種の取組みによっていずれも年々減少してきた。しかし、資源化率でみた場合、国や新潟県に比べ低い数値にとどまっている。市民や事業者の理解と協力のもと、ごみの減量化、資源化を図っていくよう望むものである。

○養護老人ホーム魚沼荘

1 主な事務分掌

養護老人ホーム魚沼荘の管理、運営

2 機構・職員の状況

| | | |
|----|--------------------|-----|
| 所長 | — 庶務係 | 1名 |
| | — (社福) 南魚沼市社会福祉協議会 | 23人 |

平成27年10月1日現在の入所者数は、62人（男30人、女32人）である。

3 入所者の状況（10月1日現在）

| 項 目 | | 平成27年 | 平成26年 | 比較増減 |
|-------------------------------|-----------------|-------|-------|------|
| 入 所 者 (人) | 南 魚 沼 市 | 59 | 60 | △1 |
| | 湯 沢 町 | 3 | 3 | 0 |
| | そ の 他 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 62 | 63 | △1 |
| 年 齢 (歳) | 平 均 年 齢 | 80.4 | 81.1 | △0.7 |
| | 最 高 年 齢 | 99 | 98 | 1 |
| | 最 少 年 齢 | 62 | 61 | 1 |
| 経 過 年 数 (年) | 平 均 経 年 | 5.3 | 5.9 | △0.6 |
| | 最 高 経 年 | 26 | 25 | 1 |
| 介 護 保 険 要 介 護 認 定 者 (人) | | 40 | 34 | 6 |
| 介 護 サ ー ビ ス 利 用 状 況 (人) | 通 所 | 32 | 27 | 5 |
| | 訪 問 介 ・ 看 護 | 14 | 10 | 4 |
| | 福 祉 用 品 レ ン タ ル | 21 | 18 | 3 |

| 項 目 | | 平成27年 | 平成26年 | 比較増減 |
|--------------|---------|-------|-------|------|
| 待 機 者 (人) | 南 魚 沼 市 | 4 | 2 | 2 |
| | 湯 沢 町 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 4 | 2 | 2 |

4 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

新築なった魚沼荘は、全室が個室で、すばらしい施設である。木をふんだんに使い、食堂のイスの背に歩行の際つかまるための機能をもたせるなど、非常に細かいところにまで配慮がなされていた。

実質的に「終の棲家」とのことである。今後とも安心・安全な生活環境の提供に努めるとともに、自立性を高める処遇を望むものである。

○市民課

1 主な事務分掌

戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療

2 機構・職員の状況

課長 ——— 市民係 13名うち非常勤職員4名（10月1日から非常勤2名増員）
 国保年金係 9名うち非常勤職員2名
 計 23名うち非常勤職員6名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

国民健康保険事業の運営にあたり、被保険者の減少等による保険税収入の減、前期高齢者の増加等による給付費の増など、非常に厳しい財政運営が続くと予想される。平成30年度の保険者の県への統合に伴う市町村負担について試算を行っているとのことである。市民の安心のためにも、より一層堅実な運営を望むものである。

後期高齢者医療保険料の不納欠損処分については適法に処理されていた。

○環境交通課

1 主な事務分掌

環境基本計画・行動計画、有害鳥獣対策、公害対策、地下水規制・地盤沈下対策、交通安全関係、墓地新設・改葬許可関係

2 機構・職員の状況

課長 ——— 環境交通班 環境 3名
 交通 2名
 計 6名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

環境の保全のため、当市でも自然エネルギーを活用した新エネルギーの導入を推進すべく、その一環として補助金を交付している。市民に対し、導入から廃棄まで全体でどのくらいの収支となるのかなど適切な情報提供に努め、推進していくことを望むものである。

市としても、南魚沼市環境行動計画を策定した。新施設への新エネルギー導入の検討など定めており、自ら範を示せるよう望むものである。

○子育て支援課

1 主な事務分掌

保育園、学童保育、ほのぼの広場、ファミリーサポートセンター事業、児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当、医療費助成、家庭児童相談、DV相談

2 機構・職員の状況

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|------|-----------|------|--------------------------|----|------|----|--|
| 課長 | — | 保育園 | 大和地域 | 市立 | 4園 | ○学童保育 ・公営 13 ・民営 3 | | | | |
| | | | | 公設民営 | 1園 | | | | | |
| | | | | 六日町地域 | 市立 | | 7園 | | | |
| | | | | | 公設民営 | | 2園 | | | |
| | | | | 塩沢地域 | 私立 | | 2園 | | | |
| | | | | | 市立 | | 8園 | | | |
| | | | | 私立 | 2園 | | | | | |
| | | | | 子育て支援センター | 2名 | | | | | |
| | | | | こども家庭支援班 | — | | | 支援担当 | 5名 | |
| | | | | | | | | 相談担当 | 2名 | |
| 計 | 19名 | | | | | | | | | |

(保育園職員は350名、うち非常勤職員は207名となっている。また、職種別では、保育士199名、保育助手66名、調理員40名、同助手3名、パート42名)

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

塩沢地区及び六日町地区で私立保育園の整備が進められつつある。保育士の確保、困り感をもった子の増加、学童保育の充実等課題は多い。少子化が進む中で、子育て環境の充実に向け、より一層のきめ細かな対応を望むものである。

○福祉課

1 主な事務分掌

高齢者対策、障がい者自立支援、生活保護、権利擁護、虐待対応

2 機構・職員の状況

| | | | |
|----|---|--------|--------------|
| 課長 | — | 高齢福祉係 | 5名うち非常勤職員1名 |
| | | 障がい福祉係 | 7名うち非常勤職員1名 |
| | | 厚生福祉係 | 8名うち非常勤職員3名 |
| | | 計 | 21名うち非常勤職員5名 |

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

虐待相談件数等は、下表のとおりである。1件毎に事情が異なり、複数の要因が複雑に絡んでいることが多く、多大な労力・専門的な対応が必要となっている。関係者、関係機関の連携により、適切な対応を望むものである。

【虐待相談件数等】

(単位：件)

| 年度 | | H24 | H25 | H26 | H27.10月末 |
|-------|------------|-----|-----|-----|----------|
| 養 護 者 | 受付相談件数（新規） | 11 | 8 | 10 | 7 |
| | 虐待判断件数 | 8 | 4 | 4 | 1 |
| 施 設 | 通報件数 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 虐待判断件数 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 使 用 者 | 通報件数 | 0 | 0 | 0 | 1 |

生活困窮者自立支援法により必須事業として、市で実施している自立相談支援事業の状況は、下表のとおりである。11月末現在の相談件数は83件（重複含む）、プラン策定は5件となっている。自立への強い意識づけを支援し、適切な対応を望むものである。

【生活困窮者自立支援制度に関する支援状況】

(単位：件)

| 区 分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 計 |
|------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|
| 新 規 相 談 件 数 | 10 | 10 | 11 | 10 | 9 | 14 | 7 | 12 | 83 |
| プ ラ ン 作 成 件 数 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 5 |

○商工観光課

1 主な事務分掌

観光宣伝、山岳救助、商工振興、企業誘致、雇用対策

2 機構・職員の状況

課長 ─┬─ 観光交流班 8名
└─ 商工振興班 6名
計 15名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

「国際大学との連携による創業支援」、「食による街おこし」等意欲的な取組みがなされている。一方、従来からの業務の整理がなかなか進んでいない。結果を検証し、施策の棚卸しを行い、スクラップ・アンド・ビルドを基本に、戦略的にヒトとカネを投じる必要がある。惰性に流され職員が疲弊することがあってはならない。

雪国観光圏について、当市の負担割合は、構成7市町村中2番目の22.24%である。負担割合に見合った成果を望むものである。

○企画政策課

1 主な事務分掌

総合計画、移住・定住施策、行財政改革・行政評価、統計調査、魚沼地域定住自立圏構想、地域活性化事業

2 機構・職員の状況

課長 — 企画班 7名
計 8名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

第2次市総合計画の策定、国の地方創生の取組みに併せた南魚沼市版の計画策定、さらには5年に1度の国勢調査等があり非常に多忙な年度であった。

移住・定住に向けた具体的な施策も展開される。百年の大計を考え、未来の市民に誇れるよう施策の実施を望むものである。

○建設課

1 主な事務分掌

道路河川等維持修繕、災害復旧、道路除雪、道路新設改良

2 機構・職員の状況

課長 — 維持管理班 10名
— 建設係 6名
計 17名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

限られた予算の中、地元からの多種・多様な要望に対し、「公平」を基本に、地元ときめ細かに意思疎通を図り、事業執行されることを望むものである。

○保健課

1 主な事務分掌

母子保健（妊婦健診、乳幼児健診、育児支援、予防接種、自殺対策）、成人保健（住民健診、健康教室）

2 機構・職員の状況

課長 — 母子保健班及び成人保健班 34名うち非常勤職員9名
(うち、休業中職員6名)

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

子どもから大人まで各種の予防接種があるが、近年その多くに法令又は助成制度の変更が見られる。適時に適切な情報提供を行い、市民の安全に配慮しながら接種を進めていくよう望むものである。

保健活動の充実が計画されている。「予防は治療に勝る」。自らの健康づくりに向けた市民の、自立的・自発的な活動を支援していくよう望むものである。

○農林課

1 主な事務分掌

農業・水産業・林業の振興に関すること

2 機構・職員の状況

| | | |
|----|-------|----------------------|
| 課長 | 農業振興係 | 10名うち非常勤職員1名 |
| | 農地林務係 | 8名うち再任用職員1名、非常勤職員3名 |
| | 国土調査係 | 5名うち非常勤職員1名 |
| | 計 | 24名うち再任用職員1名、非常勤職員5名 |

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

「南魚沼産コシヒカリ」を取巻く環境は年々厳しさを増している。農家所得の向上を基本にコシヒカリの販売促進に取り組んでいる。イメージ戦略を展開しているとのことであるが、「誰に」「何を訴求する」のかがあいまいな面もみられる。効果的な戦略を望むものである。

日本型直接支払制度として当市では（1）多面的機能支払（地域の共同活動支援）、（2）中山間地域等直接支払（条件不利地の農用地）、（3）環境保全型農業直接支払の三事業に取り組む、平成27年度では約4億円が予算措置されている。これらがいわゆるバラマキとなることなく、真に農業・農村が抱える課題の解決に役立つことを望むものである。

有害鳥獣被害防止対策事業は、平成24年度にモデル事業として5集落が取り組み、年々取り組む集落を拡大し、平成27年度では42集落が取り組んでいる。補助期間が終了しても、自立して活動を継続できるよう育成、支援を望むものである。

○都市計画課

1 主な事務分掌

都市計画、交通施策、まちづくり支援、建築確認、施設管理、公営住宅、克雪及び雪対策

2 機構・職員の状況

| | | |
|----|-------|-----|
| 課長 | 都市計画係 | 5名 |
| | 施設係 | 6名 |
| | 計 | 12名 |

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

公営住宅は、平成27年度現在で73棟、470戸あり、全般的に老朽化が進んでいる。長寿命化計画により改修を行うとともに、選別的に除却し、必要戸数を確保していく考えである。

「南魚沼地域屋根雪に関する指導要綱」を平成2年1月1日から施行し、雪を原因とした相隣関係のトラブル調整に一定の役割を果たしてきた。

良好な住環境の確保・整備は地域社会の基本である。一層の努力を望むものである。

○税務課

1 主な事務分掌

市税、収納管理、滞納整理

2 機構・職員の状況

| | | |
|----|------|----------------------|
| 課長 | 市民税係 | 8名 |
| | 資産税班 | 11名うち非常勤職員1名 |
| | 収税班 | 14名うち非常勤職員1名、収納嘱託員2名 |

計 34名うち非常勤職員2名、収納嘱託員2名

3 所感

平成27年11月末現在の収納状況は、下表のとおりである。

(単位：千円、%)

| 区 分 | 平成27年11月末 | | | 平成26年11月末 | | |
|------|-----------|-----------|------|-----------|-----------|------|
| | 調定額 | 収納額 | 収納率 | 調定額 | 収納額 | 収納率 |
| 一般会計 | 8,383,036 | 4,895,840 | 58.4 | 8,569,877 | 4,943,444 | 57.7 |
| 国保会計 | 1,760,451 | 837,539 | 47.6 | 1,973,325 | 916,390 | 46.4 |

収納率は、前年同期に比べ、一般会計で0.7ポイント、国保会計では1.2ポイントそれぞれ上昇した。引き続き収納率の向上に努めるよう望むものである。

適正な課税及び収税に向け、職員の更なる技能向上を図るよう望むものである。

不納欠損処分については適法に処理されていた。

○家畜指導診療所

1 主な事務分掌

家畜診療・防疫、家畜の飼育管理・指導・改良

2 機構・職員の状況

所長 ── 医務係 係長1名
 └─ 業務係 (農林課農業振興係員が兼務)
 計 2名うち非常勤職員0名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

職員である獣医師の退職が近年に予定されている。今後の在り方について早急に検討するよう望むものである。

○介護保険課

1 主な事務分掌

介護保険事業、地域包括支援センターの運営

2 機構・職員の状況

課長 ── 介護保険係 7名うち非常勤職員1名
 └─ 介護認定係 11名うち非常勤職員8名
 └─ 包括支援係 3名うち非常勤職員1名
 └─ 地域包括支援センター ┌ 大和地区 4名うち非常勤職員1名
 ├ 六日町地区 9名うち非常勤職員3名
 └ 塩沢地区 5名うち非常勤職員1名
 計 40名うち非常勤職員 15名

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

今後も、高齢者人口の増加に伴い要介護者等の増加が見込まれるなか、保険給付費の適正化が求められている。「転ばぬ先の杖」ではないが、自発的に取り組める予防事業、とりわけ

男性も気楽に参加できる予防事業を実施するよう望むものである。

○財政課

1 主な事務分掌

予算編成、地方交付税、財産管理、用地物件交渉、契約、工事検査、車両運行管理

2 機構・職員の状況

| | | | |
|----|---|-------|--------------|
| 課長 | — | 財政係 | 4名 |
| | — | 用地管財班 | 5名 |
| | — | 契約検査班 | 5名うち非常勤職員1名 |
| | — | 車両班 | { 大和 3名 |
| | | | { 六日町 6名 |
| | | | { 塩沢 4名 |
| | | 計 | 28名うち非常勤職員1名 |

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

統一的な基準による地方公会計の整備促進が総務省から要請されている。平成28年度決算からの対応に向け、多額の費用と時間をかけて整備を進めている。整備のための整備とならないよう、その活用策についても研究するよう望むものである。

合併後10年を経過し、種々の合併特例が縮小ないし終了する時期となった。「身の丈」に合った、誤りのない財政運営を望むものである。

予算執行に関する内規、契約書式について、より分かりやすく明瞭にするよう検討を求めた。

○総務課

1 主な事務分掌

人事関係、防災、選挙事務、議会対応

2 機構・職員の状況

| | | | |
|----|---|-------|-----|
| 課長 | — | 人事係 | 5名 |
| | — | 防災庶務班 | 8名 |
| | | 計 | 14名 |

3 所感

事務はおおむね順調に執行されていた。

地方公務員法の改正で、人事評価が義務付けられた。人材育成は組織の活性化にとって重要な課題である。真に人材育成の契機となるよう望むものである。また、メンタル面を主因に休職している職員、あるいは復職過程の職員もいるとのことである。健康管理は重要である。「個人の自己責任」と突き放すことなく、組織の問題として取組むことを望むものである。

自主防災組織は、行政区の役員が兼ねている組織がほとんどで、組織の脆弱性は否めないところである。日頃の地域づくり活動が重要とのことである。他課とも連携を図りながら、組織の充実に向け支援していくことを望むものである。